

様

拝啓

深秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、11月27日より中之島公会堂にて開催される「咲くやこの花芸術祭」では、初の文楽とのコラボで、瀧弘子の身体表現として観客が文楽の舞台を見ている様子を、舞台の向こうに瀧自身が観客を写す表現としてのパフォーマンスを27日18:30～20:30する予定です。

また特別室では3日間「写身（うつしみ）」の展示も致します。

新聞各社、演劇演芸部門の方々の取材も受けておりますが、ぜひとも関係者の皆様にご覧頂ければ幸いです。

また、瀧と同じく昨年の木津川アートに参加しました岡本梨江の展覧会が12月5日より大阪YOD galleryで個展が始まります。

岡本梨江「表裏の部屋」展（DM プレスリリース在中）

家をテーマにした作品のインスタレーションです。

昨今、幼児虐待やDV、高齢者の介護での家の中における様々な問題が社会の中でも大きな問題となっております。家族を取り巻く家の「中」と「外」、一見外からは、幸せな安定がその中にはあるように見えつつも、見ることの出来ない閉ざされた家の中では、家族や家の中に潜む様々な問題が潜んでいます。安定しているように思える家が揺れ動く様子、様々な闇の部分も含めて表現いたします。

いろいろな意味で考えさせられる展示になると思います。

お忙しいとは思いますが、ぜひご高覧頂けますようお願い申し上げます。

では今後とも何卒、よろしくお願い申し上げます。

敬具

2015年11月吉日

湯浅 央子